

青梅市社会教育委員会議 11月定例会会議録

令和元年11月19日

201 会議室

出席者 委員 10名

(欠席者 委員 0名)

事務局 3名

1 開 会

【議長】先日の埼玉での関東甲信越静社会教育研究大会に参加された皆様、おつかれさまでした。全体会に参加させていただいた。会場がすばらしかった。実践的な内容もあり、それぞれ感じたことがあったと思う。後ほど委員の皆様から報告もあるので、お聞き取りいただきたい。

【係長】埼玉大会に多くの委員の方にご参加いただきありがとうございました。再来年度の東京大会に向けていいイメージづくりをしていただきながら参加していただけたと思う。今日も東京大会のテーマを決め等あるが、協力をお願いしたい。

2 報告事項

- (1) 令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3回役員会・拡大役員会、令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実行委員会第2回実行委員会の開催についての開催について (報告資料1)

ア 日 時 令和元年10月29日(火)午後1時30分から

イ 場 所 三鷹市公会堂さんさん館

ウ 参加者 宮野議長、随行 土屋

【事務局】事務局から概要説明。

【議長】予算の収入について、関東大会の参加費はどの大会も3,500円となっている。先日の埼玉大会では参加者が1,000人を超えていたので、東京大会の場合も、参加者の状況によって収入予算の状況が変わってくると思う。問題は協賛金で、都市社連協に加盟している29市町で240万円集めようということになっている。各市8万ずつという計算になる。皆様のご協力で青梅市で8万円集めるという感じなので、頭に入れておいていただきたい。しかし、小さな町は集めるのが難しい。東京都の力をお借りして、都内の大企業にもお願いできればよいと思う。支出について、府中市の会場は会場料がかかる。都市社連協でも減免をお願いしているが、特例がなく、規定の料金を支払うようになる。また、予算の中に東京都の収入がない。お金を出しづらいという実情があるようだが、今後もお願ひしていきたい。今後、大会の準備でみなさんにお力を借りることになるので、ご理解とご協力を賜りたい。

- (2) 第50回関東甲信越静社会教育研究大会 埼玉大会について

ア 日 時 令和元年11月7日（木）～8日（金）
 イ 場 所 ウェスタ川越（埼玉県川越市）
 ウ 参加者

	宮野	金子	藤原	神山	市川	栗原	吉野	飛田	横手	園田
11/7	○	○		○	○	○	○		○	○
11/8				⑤	①				⑤	
情報 交換会	○	○		○	○	○			○	

事務局 土屋、田中、田畑

【事務局】事務局から概要説明。

【議長】1日目の全体会に参加したが、飯能高校のチアダンスの歓迎セレモニーが、活力があり素晴らしかった。講演は、学校教育との関係等もあり、シンポジウムは実践的な報告が多くあった。その中で、社会教育はもう少し関わりをもって地域につながっていくのかと思った。聞いている中では、自分達の主題を追及していて、地域との関わりが薄かったのかなと思った。情報交換会では、全国社会教育連合の会長さんとも挨拶ができた。他の地域の委員さんとも色々と話ができよかった。

【委員】埼玉県の方のおもてなし、私たちが習わないといけないと感じた。歓迎セレモニーは素晴らしいアトラクションであった。基調講演もよかった。シンポジウムでは、埼玉県と21大学の提携講座の中で、若い世代が、シニア世代から影響を受けているという話が印象に残った。シニア世代が若い世代から刺激を受けているというだけではないということを感じた。100年時代ということは、このような研修会に参加してもよく言われることだが、これらに向けてのメッセージとしてよく扱われることであると感じた。情報交換会は、職業の名刺としてではなく、社会教育委員としての名刺交換が盛んであった。皆さんそれぞれの場所で社会教育を実践されていて、よい刺激を受けた。

【委員】講演では、人生100年時代の中で、子どもでいる時間より、大人でいる時間が長く、大人の時間をいかにによりよく過ごすのか、学びとつながりというお話をしていただいた。地域とのつながりの中から学んでいかなければということ saying。とてもわかりやすく、ためになる講演であった。シンポジウムでは、一人のパネラーの方が、「人生100年時代、楽しみしかない」ということを言っていたが、自身も同じ考えだと思った。埼玉から20年ほど前に青梅に来て、地元根づくとう色々経験させてもらい、人脈も広がっている。社会教育委員となり、皆様とお話させていただき勉強になっている。自分と重ね合わせて聞いていた。

【委員】情報交換会は楽しく、交流させていただいた。分科会では、先生が学校教育の時間は短く、生涯学習の方が長いと言っていた。人口減少や高齢化社会になっていく中で、どこに行っても地域のつながりが大事ということを知った。日頃の生活の中で人と人がつながって、そこに文化的なものがあるとい

うことはすごく大事だと思う。それは毎日の生活の中で培っていけるものだと思う。これからも頑張りたい。

【委員】会場が素晴らしかった。歓迎セレモニーは、川越ならではの「鳶のはしご乗り」がすごかった。講演会では、地域に根ざしていくことが大事だと感じた。子どもの居場所づくりも大事だと思うので、関わっていきたい。

【委員】情報交換会では、大学の学長・教授、教育委員長、社会教育専門の方等色々な方がいた。先日の青梅アートフェスティバルの際、川越から来た方とお話したので、埼玉大会の実行委員長の名前を出すと、あの方がいるとうまくいくと言っていた。

【委員】歓迎セレモニーは、華やかで感動した。講演では、人生100年時代と言われるが、100歳まで生きるのもなかなか難しいというお話をしていた。子どもたちはそれに向かって頑張れると思うが、ある程度年齢がいくと、健康に気をつけていきたいと思った。シンポジウムの方もうまくまとまっていた。情報交換会は、参加委員の方と親睦が図れ、話が色々できた。分科会では、事例発表の久喜市やその他の地域でも公民館での活動が多いと思った。また同市では学校を拠点として活動していた。

【委員】よい情報交換ができた。大会実行委員長が、地元で3年前から根回しをしながら、お金を集め、積み重ねてやってきた。情報収集し、埼玉の独自性を出しながら、関東甲信越静が広域なのでまとめるのが大変だっただろうというご苦労もありながら、組織力をもって埼玉の底力を感じた。前回の長野も、広域の部分でも調整されていた。東京の場合も、事務局で悩むより、川越や長野の情報をもらいながらやっていただければと思う。講演会はよいまとめ方のタイムリーな講演だった。分科会では、同じテーブルに歴代の埼玉の会長をしていた方が多く、会長を降りても地元で皆さん活躍しており、刺激を受けた。テーマに関して、2年後の動静がどうなっているかということもあるが、ある程度同じテーマで進めていくことになるかと思う。

(3) 令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1ブロック研修
会について (報告資料2)

【事務局】事務局から概要説明。

(4) 令和元年度青梅市芸術文化奨励賞について (報告資料3)

【事務局】事務局から概要説明。12月22日に表彰式、発表会がある。

(5) 生涯学習事業実施予定・結果 (報告資料4)

【事務局】事務局から概要説明。

(6) その他
特になし

3 協議事項

(1) 青梅市社会教育委員会議10月定例会会議録(案)について

(協議資料1)

【事務局】事務局から概要説明。

～承認～

(2) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・全体研修会について

(協議資料2)

ア 日時 令和元年12月14日(土)午後1時30分から

イ 場所 三鷹市公会堂光のホール

ウ 内容 式典・各ブロック研修会実施報告・講演

エ 参加者

宮野	金子	藤原	神山	市川	栗原	吉野	飛田	横手	園田
○	○			○		○		○	

【事務局】事務局から概要説明。

【議長】参加希望者を取りまとめたい。

～宮野議長、金子委員、市川委員、吉野委員、横手委員の5名が参加希望～

(3) 第62回全国社会教育研究大会(新潟大会)分科会事例発表者の公募について

(協議資料3)

【事務局】事務局から概要説明。

【議長】事例発表を希望する方はいるか。いないようだったら、発表を見送りたい。

(4) 令和2年度東京都社会教育委員連絡協議会統一テーマについて

ア 令和元年度統一テーマ

「学びと活動の循環をつくる～『つながり』と『地域課題の解決』を促す社会教育の推進

イ 平成30年度統一テーマ

「知の共鳴～『学ぶこと』『つながること』その先へ～」

ウ 令和2年度統一テーマ(案)

「開かれ つながる社会教育の推進～住みよい地域づくりに多様な人材と連携を～」

「明日に向けて学びの輪を広げよう！！

～地域課題の掘りおこしと解決に向けた社会教育の実践～」

【事務局】事務局から概要説明。

【議長】皆様の私案があれば出していただきたい。

【委員】(ウ)の最初のテーマ(案)がわかりやすくいいと思う。

【委員】次回の全国の大会テーマは、地域の特性も入れながら、現代のキーワードが入っている。昨年の中教審の答申については、少子化、人口減少という中で、うまくテーマ案にキーワードが含まれていると思う。

【議長】テーマ案は、地域との関わりあいの中で、地域の課題解決をしてみましょうとか、つながっていくとか絆等の中で、案を考えた。

「開かれ つながる社会教育の推進

～住みよい地域づくりに多様な人材と連携を～」に決定。

【事務局】1月の都市社連協の理事会で提案させていただき、来年度テーマに沿った講演等で進められたらと考えている。

(5) 令和3年度関東甲信越静東京大会スローガン・研究主題について

(協議資料4)

【事務局】事務局から概要説明。

【議長】関東甲信越静という広域の範囲で考えていかなければならない。地域課題の掘りおこしという、ローカルなイメージがある。全体的な社会状況を捉えた言葉がいいと思う。

【委員】設定した趣旨に、人生100年時代ということを入れていけばいいのではないかと。兵庫の全国大会のスローガン等見ると、キーワードが「つながる」「ひらく」「地域の課題・活性化」ということが入ってくる。

【議長】「人づくり、地域づくりに向けた社会教育の実践」ではいかがか。

【委員】今までは「人づくり」が「まちづくり」ということだったが、中教審はここで新たに「つながりづくり」を入れている。昔のコミュニティという意味ではなく、絆ということを示している。

【議長】生涯学習は自己実現なので、一貫として社会教育に関わってくるので、「人づくり、つながりづくり、地域づくり」でいいのではないかと。

「明日に向け学びの輪を広げよう！！

～人づくり、つながりづくり、地域づくりに向けた社会教育の実践～」
で、大会スローガンを回答することに決定。

(6) 12月定例会について

～休会とすることで了承～

(7) その他

特になし

4 その他

【事務局】その他の配布物について説明。

令和2年1月13日（祝）午前10時より成人式がある。主催者として皆様の出席をお願いしたい。

次回定例会 令和2年1月21日（火）